

全国初！市内のお米（資源米）を原料にした指定ごみ袋の導入！

潟東小学校でお披露目を兼ねた出前授業を実施します！



本市は、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの利用を推進しています。

今年度、本市としては初めて「お米が原料のバイオマスプラスチック製のごみ袋」を販売開始することとなりました。

つきましては、ごみ袋の販売開始の周知を兼ねて、ごみ袋の原料となるお米（資源米）の稲刈りを行った潟東小学校の児童に向けて出前授業を実施しますので、広報にご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

※市町村内で栽培したお米を原料にした、市町村の指定ごみ袋導入は、「全国初」です。

記

1 日時 令和6年4月16日（火）午後1時35分から午後2時20分

2 場所 新潟市立潟東小学校（西蒲区三方）

3 出席者 新潟市長 中原八一

(株)バイオマスレジンマーケティング 代表取締役社長 山田眞

潟東小学校（6年生）38名

4 次第

(1) 開会（13:35）

(2) 出前授業

・お米を使ったごみ袋の製造方法について説明（バイオマスレジンマーケティング）

(3) 市長コメント

(4) バイオマス製品の紹介・体験

・児童からごみ袋を含めたバイオマス製品に見て・触れて・体験してもらう時間

(5) 閉会（14:20）

5 備考 バイオマスごみ袋の詳細等については、別紙「事業概要」参照
取材希望の場合は、別紙「取材申込書」にて申し込みください。

お問い合わせ

(株)バイオマスレジンマーケティング 杉原

TEL 080-5099-1023



新潟市環境部循環社会推進課 近

TEL 025-226-1391

～お米づくりから派生するゼロカーボンへの挑戦～

取組内容

- お米（資源米※）の生産 ※非食用米
新潟市内でお米のバイオプラスチック用の資源米を生産
 - ・農地所有適格法人 株式会社やまがら（西蒲区）
 - ・農事組合法人 あげぼのクラブ（江南区）
- 新潟市内の資源米を使った「指定ごみ袋」導入
生産した資源米を使った「指定ごみ袋（20ℓ・小）」導入
 - ・「指定ごみ袋（20ℓ・小）」を令和5年度内に500万枚（低密度バイオポリエチレン、新潟市産の米10%配合）

ポイント

- 市内で生産されたお米を原料とした指定ごみ袋を導入することは全国初の取り組み＝「田園型環境都市にいがた」のPR
- ごみ袋を通じて、環境問題やプラスチック削減などを意識するきっかけに＝「ゼロカーボンシティ」の取組みPR

ごみ袋ができるまで

西蒲区と江南区で育てた「お米（資源米）」が、工場でお米のプラスチック「ライスレジン®」になり、それを原料とした「新潟市の家庭用ごみ袋」に生まれ変わります。



市民のみなさんがこのライスレジン製ごみ袋を使う事によって、これまでより「二酸化炭素の排出を10%抑制」することができます。

新しいごみ袋のデザイン



← 持ち手部分に稲穂をデザイン

← お米のごみ袋に変わる理由や効果

← 取組みに賛同する企業名（ロゴ）

← 「バイオマスマーク」「ライスレジンマーク」

各販売店を通して購入いただけるのは、2024年4月14日以降

4月15日（月）午後1時までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

E-mail junsui@city.niigata.lg.jp

FAX 025-222-7032

新潟市環境部循環社会推進課 行

4月16日（火）13：35～ 「お米」を使ったごみ袋の販売開始に係る出前授業

取材申込書

社名		
連絡先	氏名	
	電話番号	
	FAX 番号	

【注意事項】

児童撮影に際して、留意事項があります。（当日、市職員に確認の上、撮影願います。）